

第1回 大館市 市民ワークショップ ～ 開催報告 ～

平成29年11月3日(金・祝) 13:00～16:00
中央公民館

第1回 大館市 市民ワークショップ

日 時：平成29年11月3日(金・祝) 13:00~16:00

場 所：中央公民館

◆テーマ

「まちづくりについて知ろう！」

目的) ・まちづくりの背景を知り、市が目指す姿を共有し意識を高める。

・交通の現状と課題を整理し、移動の問題点を洗い出す。

到達点) ・地域公共交通網形成計画に反映できるように、交通に関する課題、市内の移動に関する問題点を共有する。

◆次 第

【第1部 講演】

13:00~13:10 事務局あいさつ

大館市役所建設部都市計画課 課長

13:10~14:15 講演

「まち育てに必要な覚悟とは」

講師 北原啓司 教授(弘前大学大学院地域社会研究科 研究科長)

14:15~14:30 会場レイアウト変更

【第2部 ワークショップ】

14:30~14:45 事務局紹介、概要説明

14:45~16:00 ワークショップ

・参加者総数 36名

・事務局 大館市役所：8名

協和コンサルタンツ：4名

◆開催記録

【第1部】

■講演（13：00～14：15）

「まち育てに必要な覚悟とは」

講師 北原 啓司 教授（弘前大学大学院地域社会研究科 研究科長）

- ◇ 都市計画とは ～まちを「つくる」人とまちを「たべる」人～
- ◇ コンパクトシティって？
- ◇ 地方都市の中山間地とコンパクトシティ
- ◇ 真のコンパクトシティ政策における「まち育て」



【第2部】

■ワークショップ（14：30～16：00）

- ◇ PPTを用いて、まちづくりに関する市の考え方、ワークショップの背景や目的を説明。
- ◇ 各ラウンド（約15～20分）について、テーマやメンバーを変えながら意見交換。
 - ・ラウンド1「公共交通や移動、地域での生活で、困っていることを話してみよう①」
 - ・ラウンド2「公共交通や移動、地域での生活で、困っていることを話してみよう②」
 - ・ラウンド3「今、自分にできる【覚悟】って何だろう？」
- ◇ 話し合いの内容は、各テーブルに用意した大館市全域マップへ自由に書き込む。
- ◇ 最後に、各班で話し合った「覚悟」について紹介を行う。



■各班発表（話し合った【覚悟】を1つ紹介）

- 1班 ・非常にかわいい覚悟だが、バスについて。これからは「バス、乗ってみましょう」という覚悟を決めた。
- 2班 ・地域資源に着目し、地域が起爆剤となればよい。その勢いが、大町などの中心部へ広がるイメージをもち、ブログやSNSで発信する。
 - ・今は、ただ景色などがきれいなだけでは次につながらない。人々や筆者の想像力、歴史を活かし、ストーリーを描くことが重要となる。
- 3班 ・先立つリーダーや、ボランティア精神が必要。魅力ある集客のまちづくり。
 - ・大手企業を、あと1~2社誘致する。
- 4班 ・高齢化社会に対応するには、バス活用の方策が必要。高齢者がバスを利用できるような、行政の工夫が求められる。
 - ・国道7号や花輪線沿線は動きやすいが、そこから外れたエリアのケアが重要。あじさいの小さな花も大切にしていく。
- 5班 ・乗り合いバスの株主になっては、という案も出たが、結局「誰がやるのか？」という話になる。若い人がどのように考えるか、話し合ったがぐるぐるとまとまらなかった。
 - ・免許を返納し、事故を起こさない安全なまちを目指し、歩きやすいまちをつくって楽しく生活することを目指したいという話をした。
- 6班 ・バス路線のニーズが合っているのかが疑問。車世代はどうなるのか？今の公共交通のあり方を、今のうちにニーズへ近づけていくことが必要。
- 7班 ・子どもの世代を守る覚悟を決めた。免許返納後の不安、どのように守っていくかについて考えることが必要。



◆意見まとめ

【1班】 公共交通や移動、地域での生活で、困っていること
10年、20年後人口減少→ウーバー（UBER：配車サービス）
バス停寒くないかな
バスって高い
バスの乗り降りの段差が、老人につらい
ちっちゃいマイクロバスがあったらいい
バスにあまり人が乗ってない
前払いバス（ハチ公バス）
バス料金が乗る前に分かれば。時間が分からない。（分かりづらい）
終バスが早い。夜のバスもあれば。（短距離夜行バス？）
週末深夜バスほしい
バス待ちに、駅に図書館があったらいいかも
盛岡はイオン自前のバスがある
駅の駐車場が不便
小坂駅、大館駅のこれからがわからない。→どう変わる。
みんなが居る所
年々、運転の判断能力が落ちてくる
タリーズで時間つぶし勉強→もったいない人材
ハヴに時間つぶす所がない
【1班】 今、自分にできる覚悟って何だろう？
電車になじみがない。バス乗ってみよう

【2班】 公共交通や移動、地域での生活で、困っていること
地域の家はいっぱいある（観光）
市民と行政のコミュニケーション。市民→モラルが低いのでは？ゴミのポイ捨て
盛岡へ帰ってもよかったが、大館に…人、仕事、PRしたい
観光PRの受け皿がない
出資した人が証明書をもたらえる
リズムを合わせる（よく使われる時間帯）←仕事、生活のリズムとバスが合わない
自転車といっしょに市内に運べる電車。バス待合中心ターミナルで、冬場にも暖をとれる場所
自転車を一緒に持って（バス、電車にもちこんで）移動
日にちを決め乗合バス（予約制？）を出す→病院、買い物
市内に循環バスがあれば良いよね。
終バスが早い（土日はなおさら早い）
バスで市内を観光するのは難しい
バス路線が分かりにくい
バス料金、距離によるが高い
バス無料
バス停が遠い
バスと電車のタイミングが合わない（子供は自転車を活用）
バスの発着時間がわからなくて不便（HPに記載がない）
秋北バスのHP見つらい
中心ターミナルの廃止→情報収集しづらい

【2班】 今、自分にできる覚悟って何だろう？
地域資源＝人。PTA、自治会への参加→つながる→ここに住む意味
イベントを作る→見に来る人のためにまちをキレイにしなきゃ
犬のさんぽでゴミ拾い
ブログ、PR発信「どだすか大館」→ストーリーの発信、説明の上に行く。人が財産。
各地区で爆発（起爆剤）していく
色んな集まりに積極的に参加
コミュニケーション
見るだけでなく知ること
気軽に入れるお寺を地域で守る
寺でヨガ。市民の森でキャンドル マンダラ。

座禅と写経。一般からの参加（意外と檀家の方が来なかつたりする）

【3班】 公共交通や移動、地域での生活で、困っていること

18年前、問題は一層深刻に

有浦地区では買い物を不便と感じた事はない

田代地区は何も変わってない

田代の観光は、10年前から問題等は挙げられているが、何も変わってない

比内地区は発展しているのは誰もが目で見て解る

買い物に行くにも車がなければ毎日食べていけない

病院・いとく等にバスが入ってくれているので、便利にはなったと思う

子供の送迎等（振休）の時、親が送迎しなきゃならず、親が犠牲になる（親が休みもらう）

買い物等に不便にならないシステムを考えなければならない（田舎）

【3班】 今、自分にできる覚悟って何だろう？

移動販売車等に市で補助金を出してもらう

買い物バスツアー等を作る

病院と買い物する場所一緒→予約制メンバー制バス

多少なりお金は掛る。掛ける。

気持ちを割り切る

自分で出来る事は自分でする

市民参加型、魅力ある町作り

町内カー

町内から始まるムーヴメント→人が集まる→楽しい・カッコいい

先立つリーダー。マイナー意見をふき飛ばす強い力。

利用者も安心して免許を返納できる市のサポート。

大手企業を呼ぶ、市長の力

ボランティア精神を育てる。素直に表せるように！子供達の教育。

【4班】 公共交通や移動、地域での生活で、困っていること
100円バスみたいなのがあればいい
車優先で、まちなかでも歩行者が利用しにくい
除雪も車優先、融雪設備もごく一部
バスが使い難い、分かる人にしか分からない
西地区、下川沿は自家用車とバス・JRで本数は少ないがなんとかなっている。 病院通りは病院で迎えに来る。
車社会だなあ
バス無料（老人）都会
花岡地区、学校がなくなって地域の人数が少ない
国道以外にぬける道路がない
車を所有するより、バス・タクシーを利用している方が年間経費が少ない

【4班】 今、自分にできる覚悟って何だろう？
20年後にバス会社が存続しているか。バス、大型→小型へ（10～15人）

【5班】 公共交通や移動、地域での生活で、困っていること
エリアで事情がちがう。市が細やかに内情を把握することが必要
不便になると人が減る、悪循環 ←地域で送迎をしようとするといろいろむずかしい。 便利なところへ引越す。
必要な施設をまとめて、そこへ行くインフラを整備する
バスは、必要な時間にあわせて運行しては。飲み会の帰り、代行が混んでてなかなか帰れない。 大館駅おりたら、バスルートの地図がない。前は便利だったが、全体的に不便。大館駅前バスターミナルわからない。
バス停に囲いが無い。雨・風つらい。→地域で建ててるところもある。
電車は本数がすくない。バスは遠まわりになる。
中心地に住んでいた時は、公共交通機関が多くて便利だった。郊外住宅地だと、店やバス停まで遠くて不便。働かなくなったら、歩きでもOK。
街中ではバス歩きでもOKだった。嫁いでは車。
20年後の交通手段、バス・電車・タクシー（地域の会社はなくなった）。店も少なくなった。 →車がないと、生活・子育て出来ない。
生活リズムに、公共交通がかみあってないのでは？
ハチ公号（コミュニティバス）の乗車は…
車の維持費がけっこう高い
車がないと仕事できない。子育てできない。買い物できない。

電車に乗らずに生活してきた（親の送り迎え、自転車）
子供が少なくなったので、送迎できるようになった
駐車スペースほしい。→バス停に商店がついてたらよい。
今の時代、交通事故が多いので自転車も心配
自転車、行きはよいよい（下り） 帰り（上り）
歩いていると目立つ。不自然に見える。
（田代）お年寄り・一人暮らし、買物難民
田代、タクシーなし。バスダイヤ不便。
移動販売車でまわっている
移動販売車（以前より）品ぞろえが良くなった
買物代行
中心部の人、近くに店がないことに慣れていない
店がどんどんなくなっていく
コンビニでお年寄りが買い物している。利用しないとお店なくなる。
振興住宅地は顔もわからない。車も増えて危険。
起業すること若い人は反対？20代の意見を聞いたことがない。

【5班】 今、自分にできる覚悟って何だろう？
免許返納の後、どうなるか考えないと→事故をおこさない安全な町をつくる→歩きやすい町をつくる。楽しく生活する。
乗合バスの株主になって、無料又は100円でのれるようにする（NPO?）
走る情報をもっとこまめに発信する。今、バスの情報はない。←オール大館でやらないと。役所はバックアップ必要。→誰がまとめる？

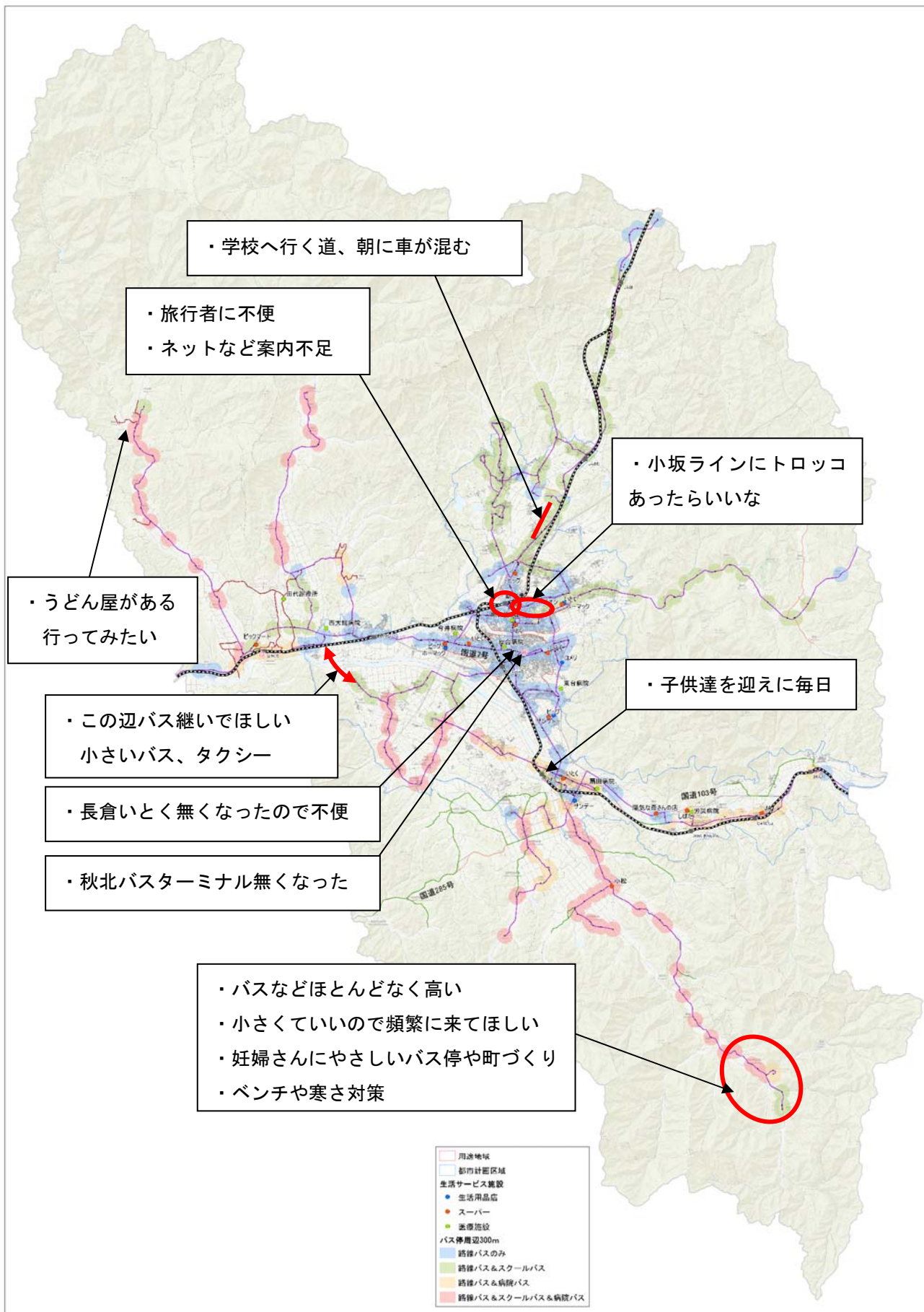
【6班】 公共交通や移動、地域での生活で、困っていること
バス路線がわかりにくい
バス料金が、乗る前にわかると便利
朝晩にバスのダイヤを集中させたらいいのか？（目的に合わせたデマンドバスの利用）
バスを利用するのは高齢者がほとんど。行きたいのは病院やスーパー。
桂桜高校の生徒が不便。（バスが少ない）近くの信号には地下道があった方がいい。
バスターミナルが無くなった。
飲み屋帰りの人のために、12時過ぎ頃の各方面行きのバスや電車があればいい。
生活のリズム。飲んだときの帰り
（夜に）乗り合いタクシー
子供の送迎（自家用車）
電車（高校生多め）
長倉いとく閉店で買い物難民増加。高齢者の歩行者への気配りが必要。
市役所職員は率先して公共交通機関を使うべき。

【6班】 今、自分にできる覚悟って何だろう？
時代が変わってニーズが変わったのに、昔と同じやり方でバスが走っている。 バスの本数が極端に減っているわけではない。
大型バスよりも中・小型で、よりニーズにあった形を！

【7班】 公共交通や移動、地域での生活で、困っていること
車がないと生活が出来ない。買物する場所がないので、車を利用。買物用のバス送迎必要では。
バス、エリア寄る。労災病院・母ちゃんの店、理想だが時間はかかる。
100円バス乗ってる人が少ないなあ。乗る人が増えるには、どうしたらいい？
JR・バス使わない。息子さんは花輪線で通学。
大町の人達の買物難民
田代地区にも買物出来る場所が無い
地元で働いても給料安い
大町に入る道路が良くない。入りづらい。

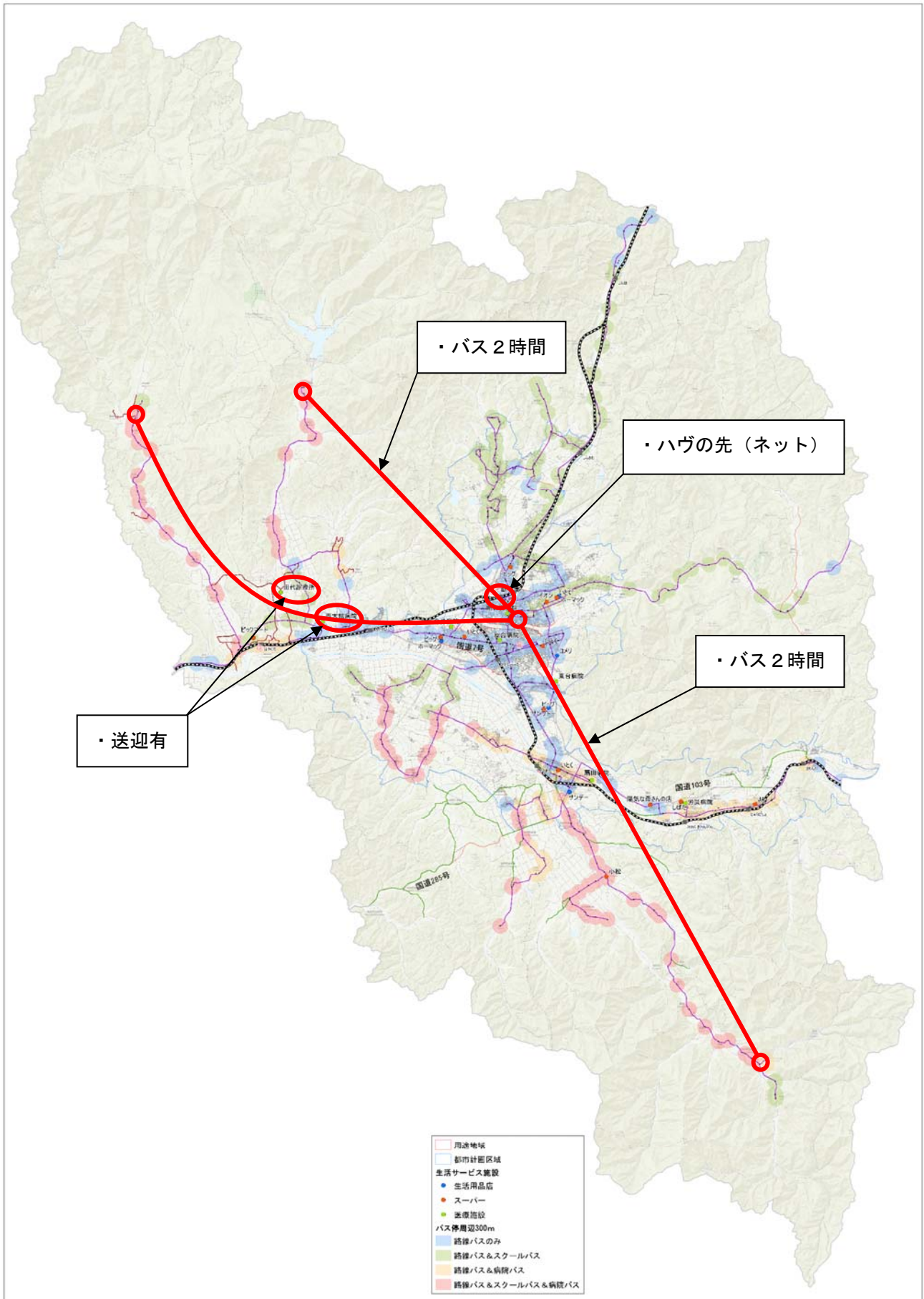
【7班】 今、自分にできる覚悟って何だろう？
75歳で車やめる
人まかせにせず、自分自身で生きる
公共機関を守る覚悟。バスの存続。（バスの運転手もいないみたいだ）
AターンUターン、人を呼び込みたい！賃金・雇用問題をなんとかしたい。 ←子の世代を守る覚悟！

・市内全域マップ（1班）

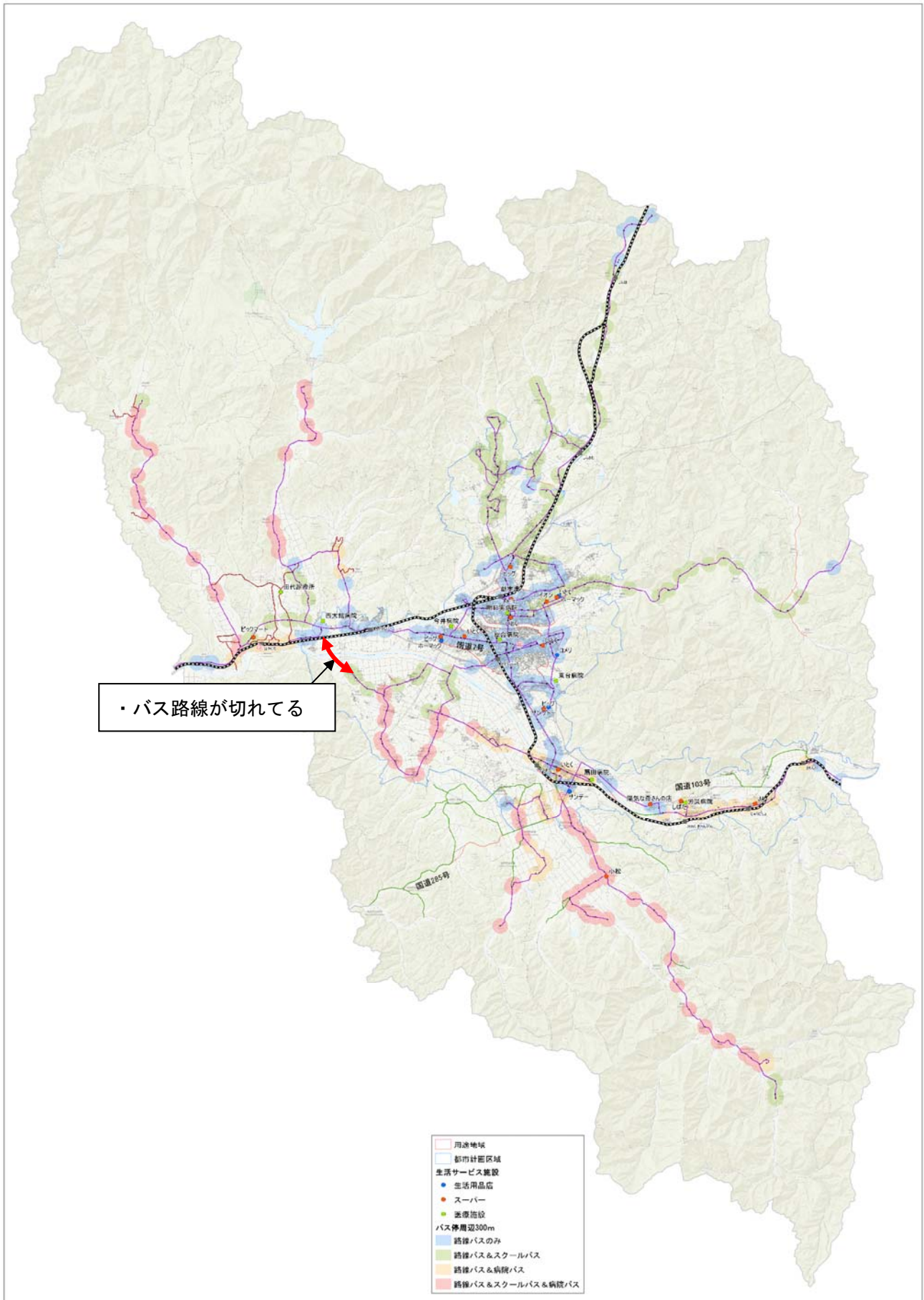


・ 2班は、路線に関する書き込みなし

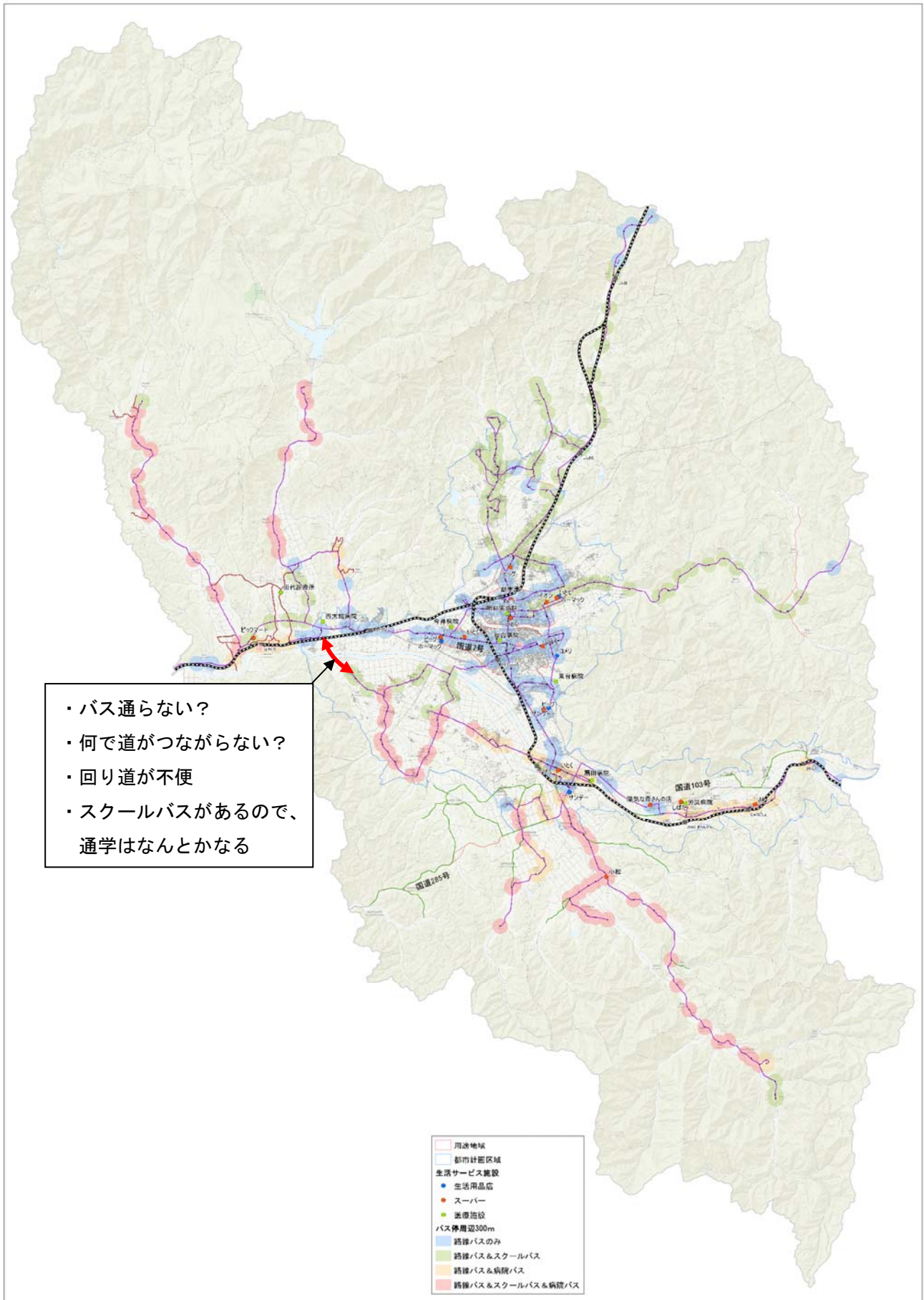
・ 市内全域マップ（3班）



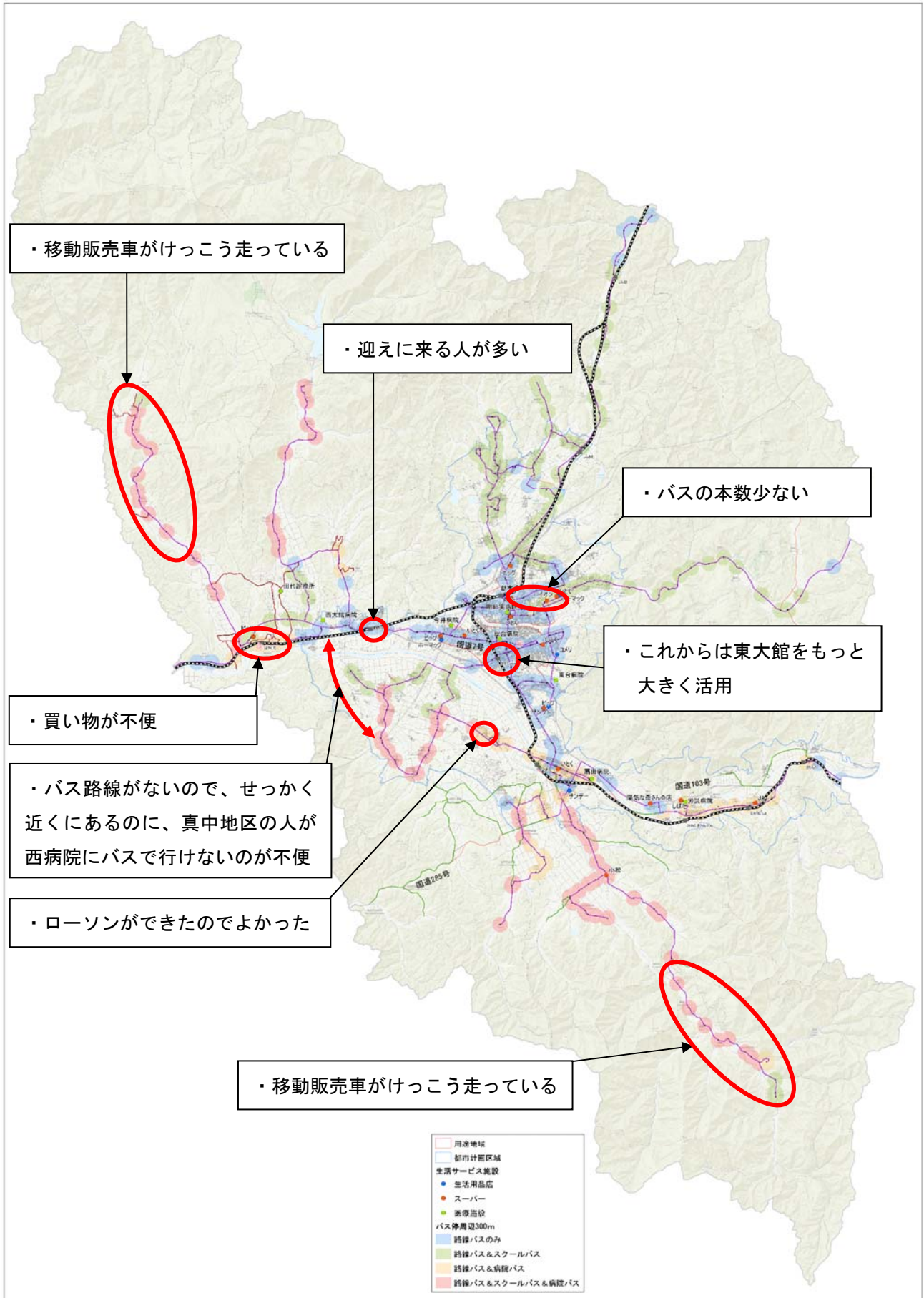
・市内全域マップ（4班）



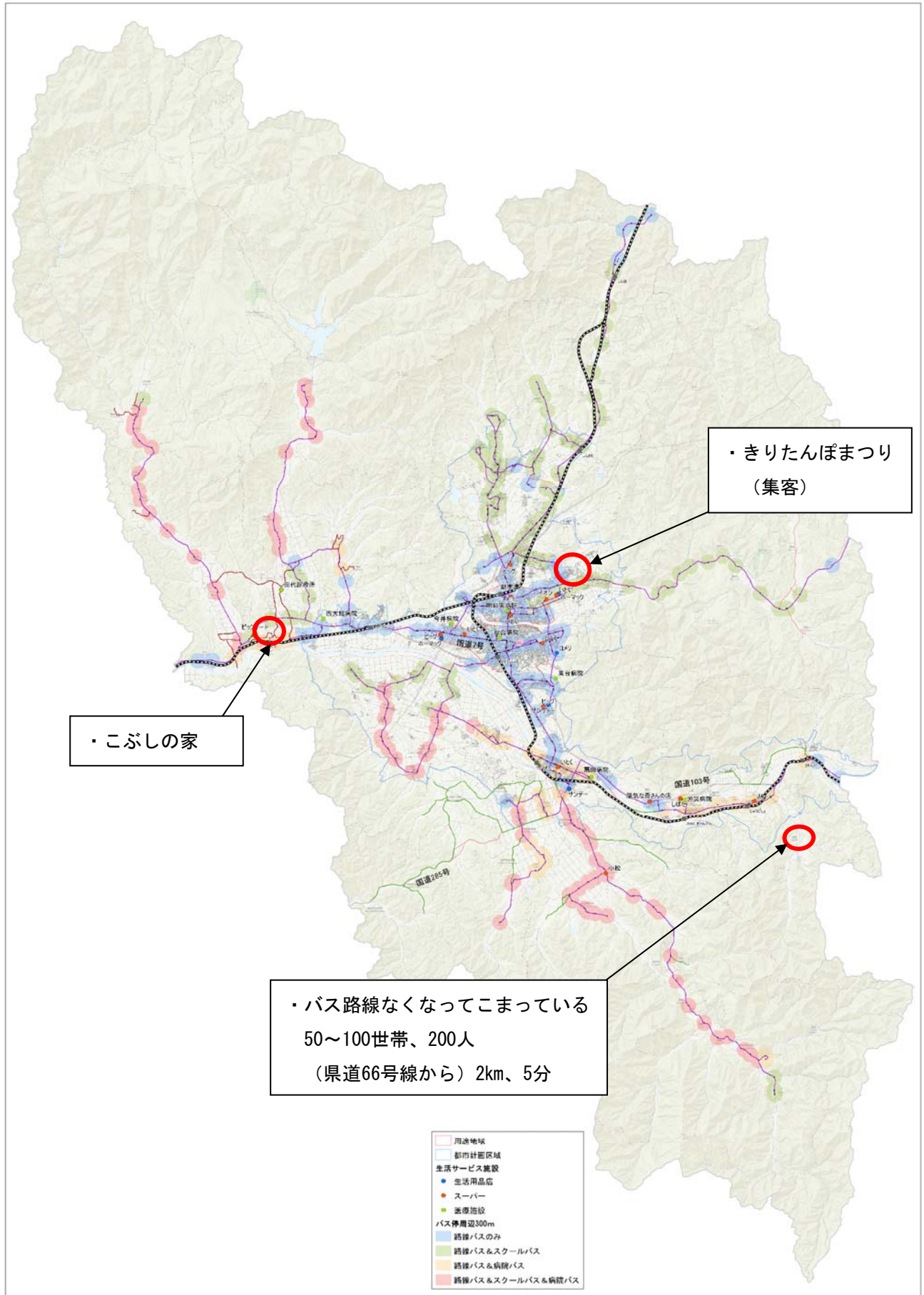
・市内全域マップ（5班）



・市内全域マップ（6班）



・市内全域マップ（7班）



◆全体のとりまとめ

<大館市で暮らすなかで、移動について感じる事>

- 車がないと、仕事・子育て・買い物が難しく、生活できない。
- 車による子供の送迎が、親の負担になっている。
- 地域によって買い物難民が発生している。店舗もどんどん減っており、車を運転しない高齢者等が歩いて買い物に行けるお店が少ない。
- まちを歩く人が少なく、歩いていると目立ってしまう。
- 移動販売車や、病院・いとく等をまわるバスに助けられている。

●車社会の現状をうけ、公共交通の利用についてみると…

<公共交通について感じる事>

- そもそも電車・バスを利用している人が少ない。
- バスの運行時間が生活に合わない。飲み会帰りに利用できる便があると助かる。
- バスの料金や発着時刻、路線、ホームページがわかりにくい。バスターミナルがなくなり、情報収集がしづらい。
- 乗る前にバスの料金がわかる・前払いシステム等があれば便利。
- バス停が寒い、遠い。地域でバス停に囲いをつくる案もある。
- バスが細やかに各エリア、お店に寄ってくれると助かる。ただし時間はかかる。

●公共交通の課題をうけ、自分にできる【覚悟】を考えると…

<今後の方向性、みなさんの覚悟>

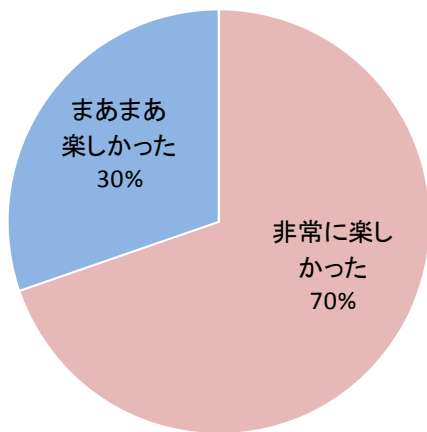
- いつまでも自分で運転し続けることは難しい。「75歳になったら」等、免許を返納することを具体的に考える。
- 免許返納後も安全に暮らしていくために、市とともに、歩きやすく楽しく生活できるまちづくりを進めていく。
- まず、意識してバスに乗ってみることから始める。
- 現代のニーズを把握し、小・中型バス等、求められている形で運行することが重要。
- バスの運行情報をこまめに発信し、バックアップの体制も整えることが必要。
- 買い物バスツアーの運行・乗り合いバスの株主になる・NPO化等、「誰がやるのか？」の課題はあるが、様々なアイデアを検討する。

<これからの暮らしで意識すること>

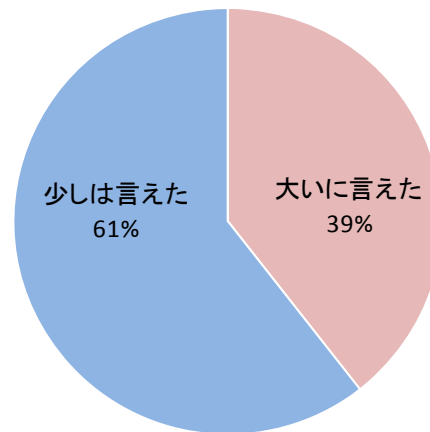
地域を支える公共交通・大館市の次の世代を守る覚悟を決め、
人任せにせず、自分でできることは自分で実践していく。
交通に限らず、地域から始まるイベント・情報発信を推進することで
人を呼び込み、まちを元気にする仕組みをつくる。

◆アンケート結果

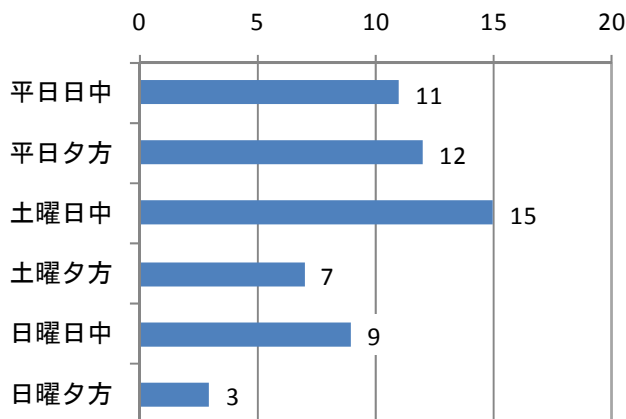
・ワークショップに参加した感想



・自分の意見が言えたかどうか



・次回ワークショップの開催日時について、参加に都合のよい時間帯



・開催日時に関する意見

早めに決まると有り難いです。
シフトを提出する際に、事前に予定がわかっていたら休みの希望を申請しやすいので、早めに連絡がほしい。
参加できるように設定してほしいと思います。
シフト制の仕事をしているので1ヶ月位前までに日程を決めて下されば、それに合わせて休みを取ります。
出来る限り参加したいと思っています。
予定を早く連絡願いたい。今回は比較的期日が乏しく他の催しとバッティングした。
今回のような感じでいいです。
2月は大館アメッコ市があるので、その後の方が皆さん意見を持ちやすいのではないのでしょうか。
今のままでOK！

・講演とワークショップに関する意見、感想

都市計画について分かりやすく、ハードルを下げる内容だと思いました。
北東北での事例も多く紹介されており、自分の身近な問題、話題につなげて考えるきっかけが出来ました。今後も様々なテーマでお話を聞きたいです。
自分が車の運転ができなくなったら、どの様な生活になるのだろうか、と考える機会になりました。例えば、年間1万払い、安い料金でバスが利用できたらいいなと思います。
今日は何をするのかなと思いながら聞いていました。意見を言うことが大事かなと思えました。
青森県の例がおもしろく、参考になりました。
北原先生のお話はたいへん参考になりました。地域1つ1つを輝かせるために、まずは自分の住んでいる地域を盛り上げていきたいです。
大館市の進めている計画が他地区でやったことよりも前向きな方向で市民の意見を活用してもらえるよう意見を出しあった。
都市計画は多くの市民の意見を聞いてつくられている、ということが良くわかりました。
各地区での例えながらで非常にわかりやすく、方向性が見えたように思う。
日ごろ感じている不便や意見を共有できたことは、とても有意義なことだと感じた。
とても勉強になりました。
よかった！！
コンパクトの考え方がよく理解できた。
コンパクトシティの考え方、改めます。その部分で良かった。
同じ大館市内でも自分の居住している地区と離れた地区の事は知らない事もあると感じた。
具体例も交えて非常に解り易いお話で、大変参考になりました。もっと聴きたかったです。
地域での取り組みが参考になった。
内容がすごく良かった。
若い人の意見を聞くことができ参考になりました。
講演に間に合わず、ワークショップのみでしたが、大館のためというより地域の為、これからの為とピントが変わっていくようでありながら、やはり大館の為に戻った気がします。
分かりやすい説明で大変よかった。
よく理解できたと思う。
教授のお話、聞きやすく参考になりました。
その通りと思うので、市民の覚悟で決まると思う。
地域のために何が出来るが考えさせられました。
初めての参加でした。みんなが大館について良くしようと思っていることに感動しました。
歴史ふれあいの町の講演でも考え方についてうかがっていた。刺激的で勉強になった。

講演でコンパクトシティのイメージが変わった。ワークショップでは自分が行ったことがない地域について知ることが多かった。
人が減り、まちがちぢみ、農地が荒れている現状に不安を感じるこのごろです。農業基盤を大事にするまちづくりを目ざしていくことに少し希望が見えて来ました。
北原先生が実際に街づくりをしてきた例をもっともっと具体的に聞いてみたいと思いました。青森、弘前、北上など、わりと近い街なので非常に興味がある。
コンパクトシティがわかりやすくてよかった。
参考になりました。むずかしい言葉をわかりやすく、例えて説明してくれた事がとても落としこみやすかったです。
小さな地域から潤えば、全体が潤うとおっしゃっていたので、同じお考えを持ちとても勉強になった。

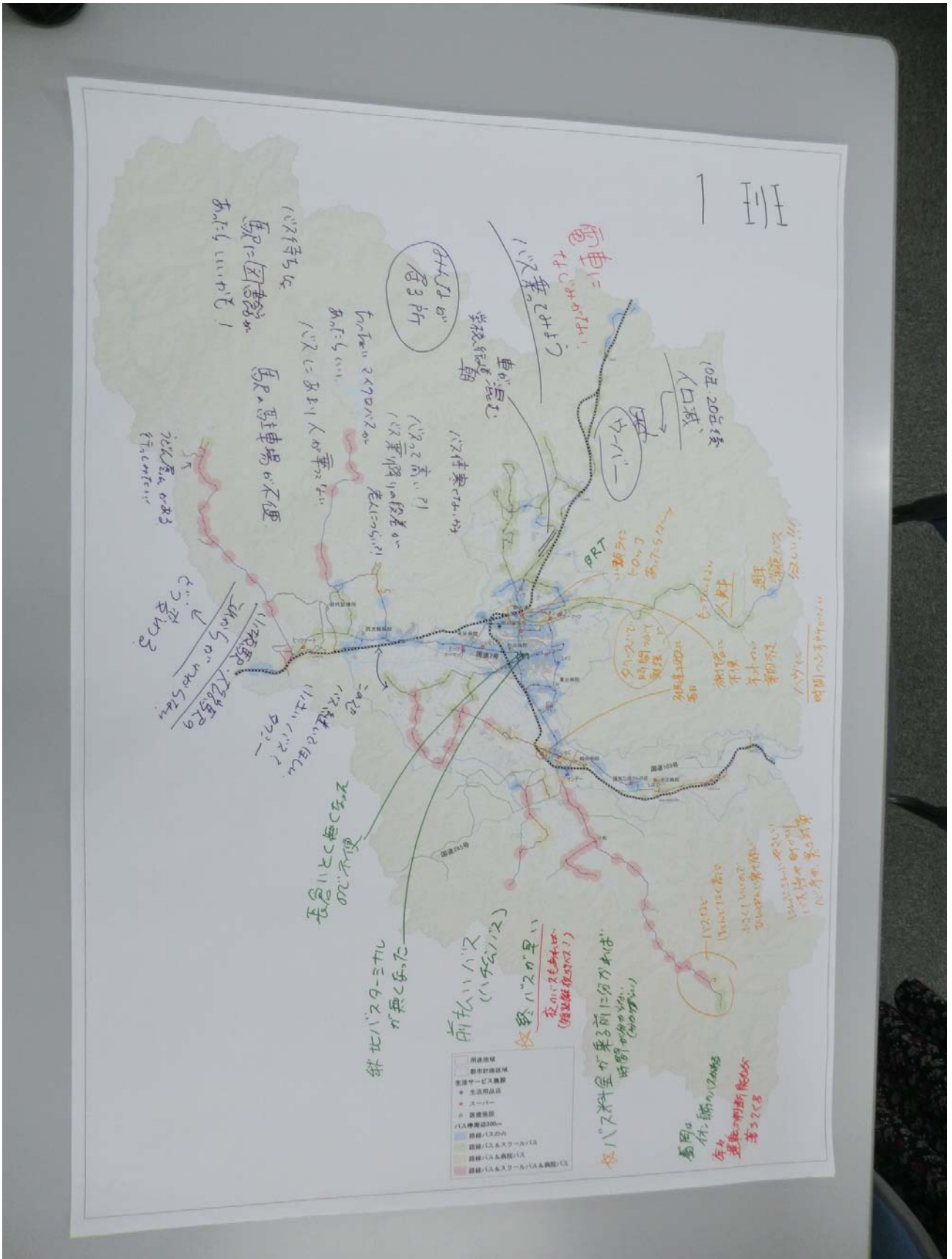
・あなたの「覚悟」について

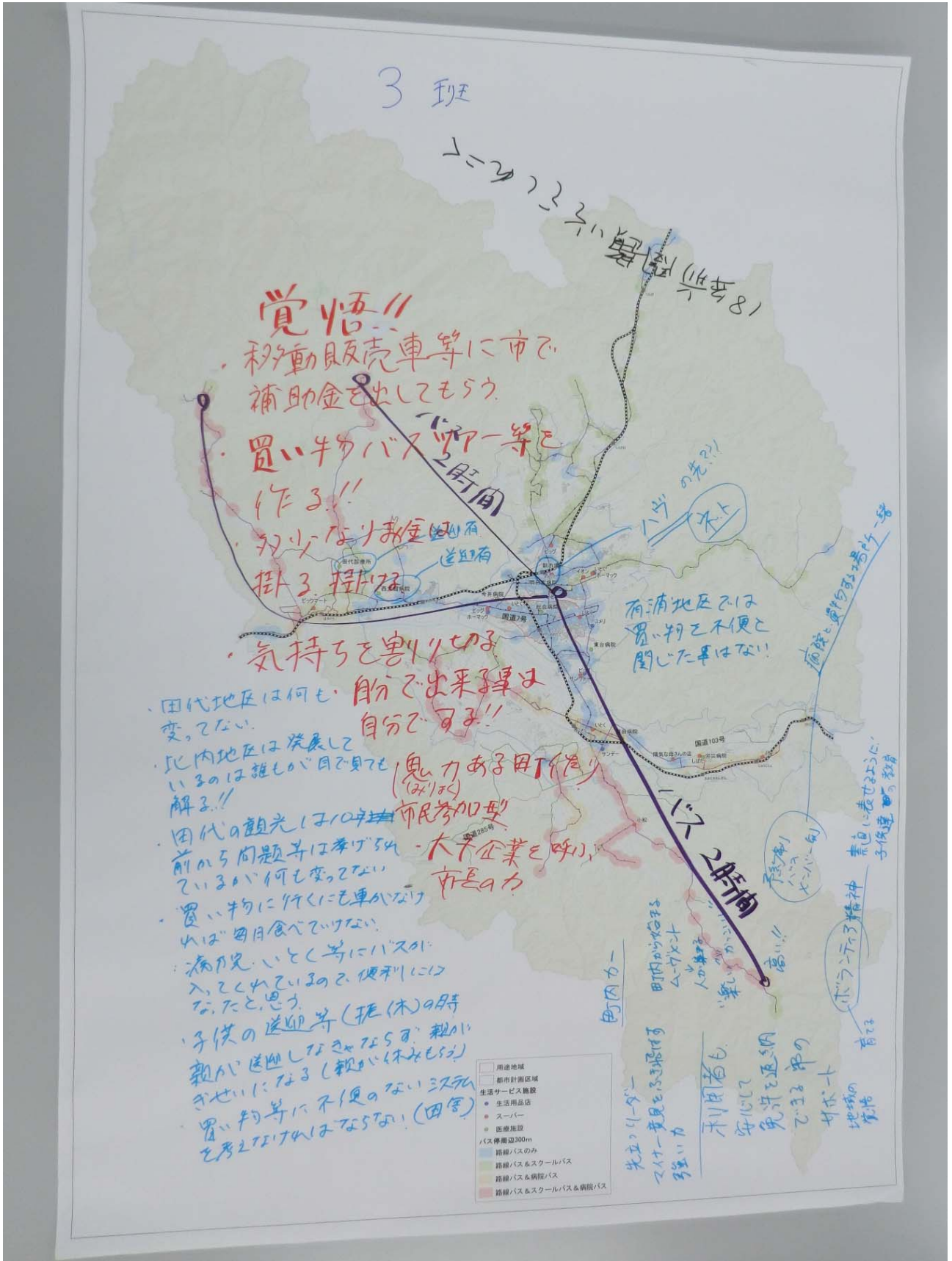
人口増減が良くも悪くも影響する（交通インフラ減少など）ことに対して向き合う覚悟。秋田の自然と向き合う覚悟。
大好きな人と結婚して、大館を大好きなまちにしていくこと！
大館を離れる事なく、60才すぎたら農業をやっていると思います。
バスに乗ってみたいと思います。
もっと地域の人達との交流を深めて生活を便利にする。
今ある問題を先送りにせず、自分たちの未来のため（よくするため）行動を起こす。
自分が色々な部分で地域を知る。
地域に関心を持つ。積極的にかかわる。ずっと住み続ける。
75才で車をやめて、公共機関（バス、電車）の利用でお金を回すことを考える。
少しでもできる事をやる！考える！提案する！
もっと「まち」に目を向ける。
10年後、車はやめる。
人口減少にもまけない生活。
この大館がどのように良い方向に進んでいくのか、最後まで見届けたいと考えています。反映されるかも確認したいと思います。
年をとるにつれて、発想をやわらかく。
お客様態度、与えられたものを只選ぶ消費者的態度ではなく、自分達の住んでいる街に自分達で責任を持つという社会参加意識を持って生活する。
地域住民として町内や住みよい大館市のために意欲的に行動していきたい。

これからの人生の有り方。
健康を保つことと、公共交通機関をもっと利用する。
おもしろい「お寺」の姿をつくりあげていきたい。
地域の課題を先送りにしない。今分かっている課題は今取り組む。
南、東、西、北と各地域より、色々と発信していかなければならないと思いました。まずは地元からきれいにする。
バス、乗ります・・・。
免許を返納しても楽しく生活出来る地域社会を早期に構築。
自分の考えをしっかりとって覚悟を決めたい。
大館（地元）で暮らすことでしょうか。
今日の話し合いを振り返り、再度市の交通について考えてみたい。もっと深く考えてみたい。
歩いたり動けることを維持する。自動運転とか最新のテクノロジーのこともよく知る。
身のまわりをたえず耕し、健康でまめに周囲に気くばりできるおとしよりになりたい。
40代半ばに差しかかった自分が、今の10代20代の20年後に何を残せるかをもっと真剣に考えるべきだと思った。ワークショップに中学生、高校生の参加が必要。
起業、NPOなど、何かをするにしろ、免許返納するにしろ、楽しく生活できる大館になるよう前向きにすすんでいきたい。
大館に住み、拠点として、これからも大館市民として胸をはって生きること。
まずは、町内から。マイナー意見に引き込まれない強いハートが必要。

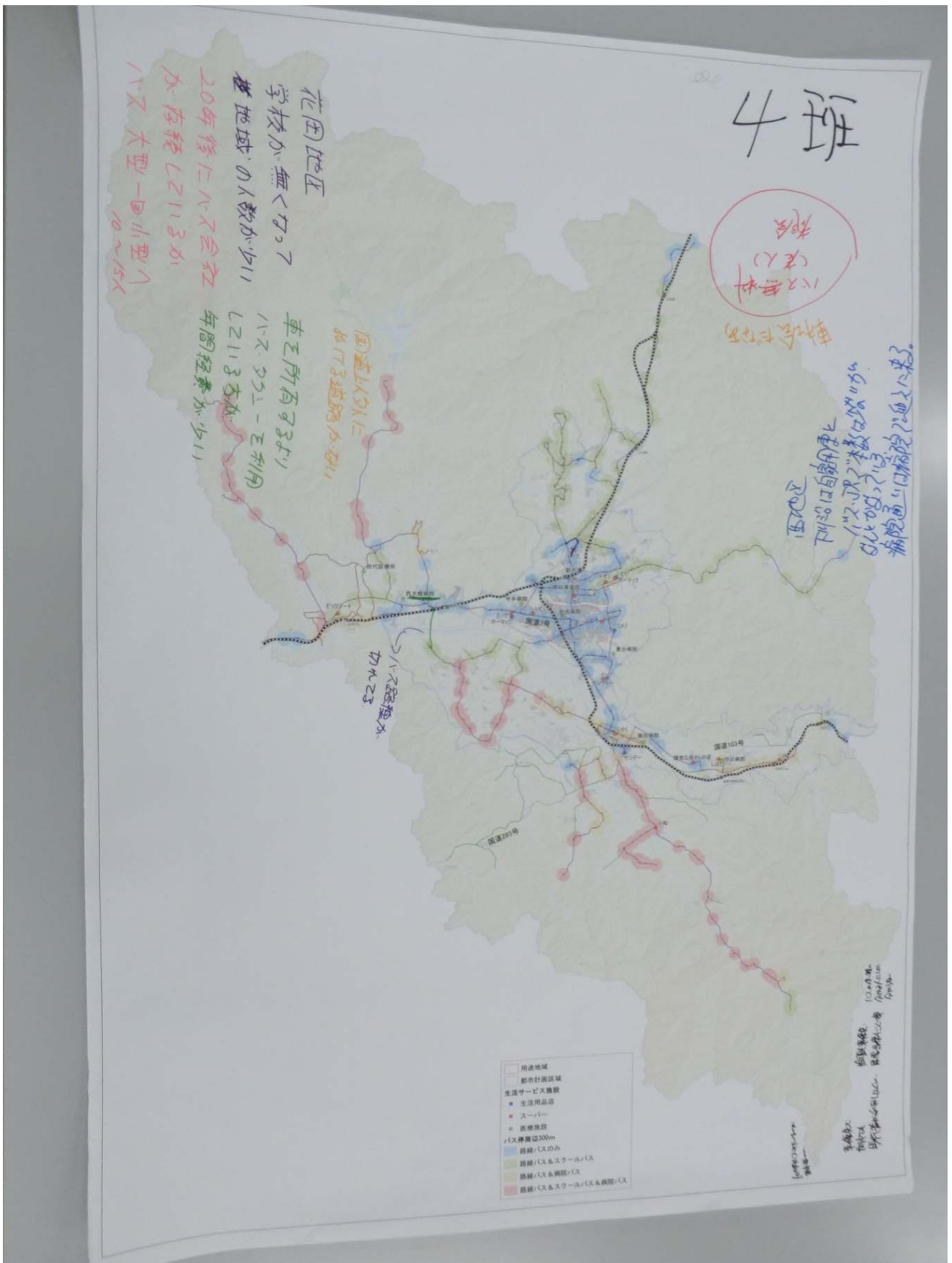
◆資料集

・意見を書き込んだ模造紙（1班）





・意見を書き込んだ模造紙（4班）



・意見を書き込んだ模造紙（5班）

